

## 文字の色について

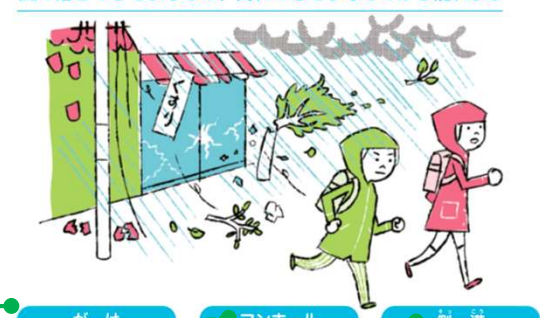
赤文字：単語の意味の説明

青文字：児童に促したいポイント(児童への支援の視点や発展的な内容)


緑文字：ミニ知識(補足)

### 登下校中、台風や大雨がきたら？


風で落ちてきそうなもの、倒れてきそうなものから離れよう




● かけ ● マンホール ● 側溝



できる限り  
かけから離れよう



傘などで足元を  
確かめよう




むやみに近づかない

【**緑文字**】  
● 雨が降ると、小石が排水溝に落ちて、マンホールのふたが外れてしまうことがあるので、十分注意して近寄らないようにする。


【**青文字**】  
● 学校に行く前に天気予報を確認するようにしよう。  
● 1時間に10mm(やや強い雨)以上の雨が降る予報のときは注意が必要だよ。

### 家にいるとき、学校が休みのとき、台風や大雨がきたら？

● 自分の家、友だちの家にいたら？ ●




家が安全な場合には、家の2階など安全な場所にしよう




家が安全でない場合には、避難場所などに避難しよう

● 屋外にいたら？ ●



川の水量が増えてきたら、すぐ川から離れよう



ものが飛んでくることもあるので、安全な建物の中に避難しよう

【**青文字**】  
● 川について知っておこう  
・川の水量が増えるのは、その場で雨が降っている時だけじゃないよ！  
・川の上流で雨がたくさん降っていると、降った雨が下流に流れてくるよ。急に水量が増えたり流れが速くなることもあるから、川の近くにいるときは気をつけよう。

### 【屋内でのミニ知識】

大雨の際、家の中にいる場合は、窓やドアを閉め、電気やガスを消して、安全な場所に避難する。  
一階は浸水する恐れがあるため、なるべく高いところ(二階など)で待機する。  
※参照：横浜市「台風・大雨への備えについて」

### 【屋外での避難のミニ知識】

川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなどが発生しやすい川、川の急激な増水が生じたり、道路や住宅の浸水、道路のアンダーパス(体交差で、掘り下げ式になっている下の道路。くりあげ式通路)等の地下空間の水没といった被害も発生している。  
これらの場所に近づかないようにするのが大切。  
台風や大雨がきたら、ただちに頑丈な建物内に避難する。  
※参照：気象庁「浸水キキウ」

### 【児童考察】

1時間に10mm以上～20mm未満の降水量では、「やや強い雨」の階級に分類される。地面には一面に水たまりが出来、跳ね返りで足元が濡れる。また、木造住宅の屋内では雨の音で話し声がよく聞き取れなくなる程度の雨が降る。  
登下校の際の行動を自分で判断させたり、それを保護者には提案できる力を身につけさせたい。

### 《大雨の際の登下校の注意点》

- ・登校前に天気予報を確認し、必要に応じて傘やレインコートを持参する
- ・視界が悪くなるため、歩き方に注意。歩幅を小さく、足元に注意して歩く。
- ・道路が滑りやすくなるため、靴底が滑りにくい靴を履く。歩道の浸水具合によっては、長靴よりも普段履き慣れた運動靴の方が安全。

※参照：気象庁「雨の強さと降り方」